

公害への苦情

(2020年度)総務省「令和2年度公害苦情調査」典型7公害
 ※青い文字は、各都道府県の典型7公害の苦情のうち、もっとも件数の多かったもの(⊗)…大気汚染、(⊙)…水質汚濁、(⊕)…騒音、(⊖)…悪臭を紹介

■典型7公害の苦情件数
 【合計5万6123件】
 ●…2000件以上
 ●…1000～1999件
 ●…500～999件
 ●…500件未満

※都道府県名の前にある丸数字は順位。
 ※↑は前年より増、↓は前年より減、→は前年と同。
 ●(⊗)は四大公害病。患者数は「日本国勢図会 2021/22年版」より。



イタイイタイ病【水質汚濁】 富山県神通川下流域
 1910年代から1970年代前半、カドミウムによる神通川の水質汚濁が原因で発生。米などを通じ、人びとの骨に被害をおよぼした。2019年12月末現在に存命で、患者として認定されている人は2人。

新潟水俣病【水質汚濁】 新潟県阿賀野川下流域
 1965年、有機水銀による阿賀野川の水質汚濁が原因で発生。そこでとれた魚類を食べた人が、健康をそこなった。2019年12月末現在に存命で、患者として認定されている人は130人。

水俣病【水質汚濁】 熊本県水俣湾沿岸
 1956年、有機水銀による水質汚濁などが原因で発生。そこでとれた魚類を食べた人が、健康をそこなった。2019年12月末現在に存命で、患者として認定されている人は330人。

四日市ぜんそく【大気汚染】 三重県四日市市
 1960年から1972年、おもに亜硫酸ガスによる大気汚染が原因。2019年12月末現在に存命で、患者として認定されている人は328人。

1位 東京都
 6861件
 (↑4135件)
 騒音の苦情件数が全体の半分以上をしめる。理由は、土地がせまく、人口や交通量が多いため、道路や線路が民家と近いからである。

2位 愛知県
 4943件
 (↑1753件)

3位 大阪府
 4334件
 (↑2079件)

